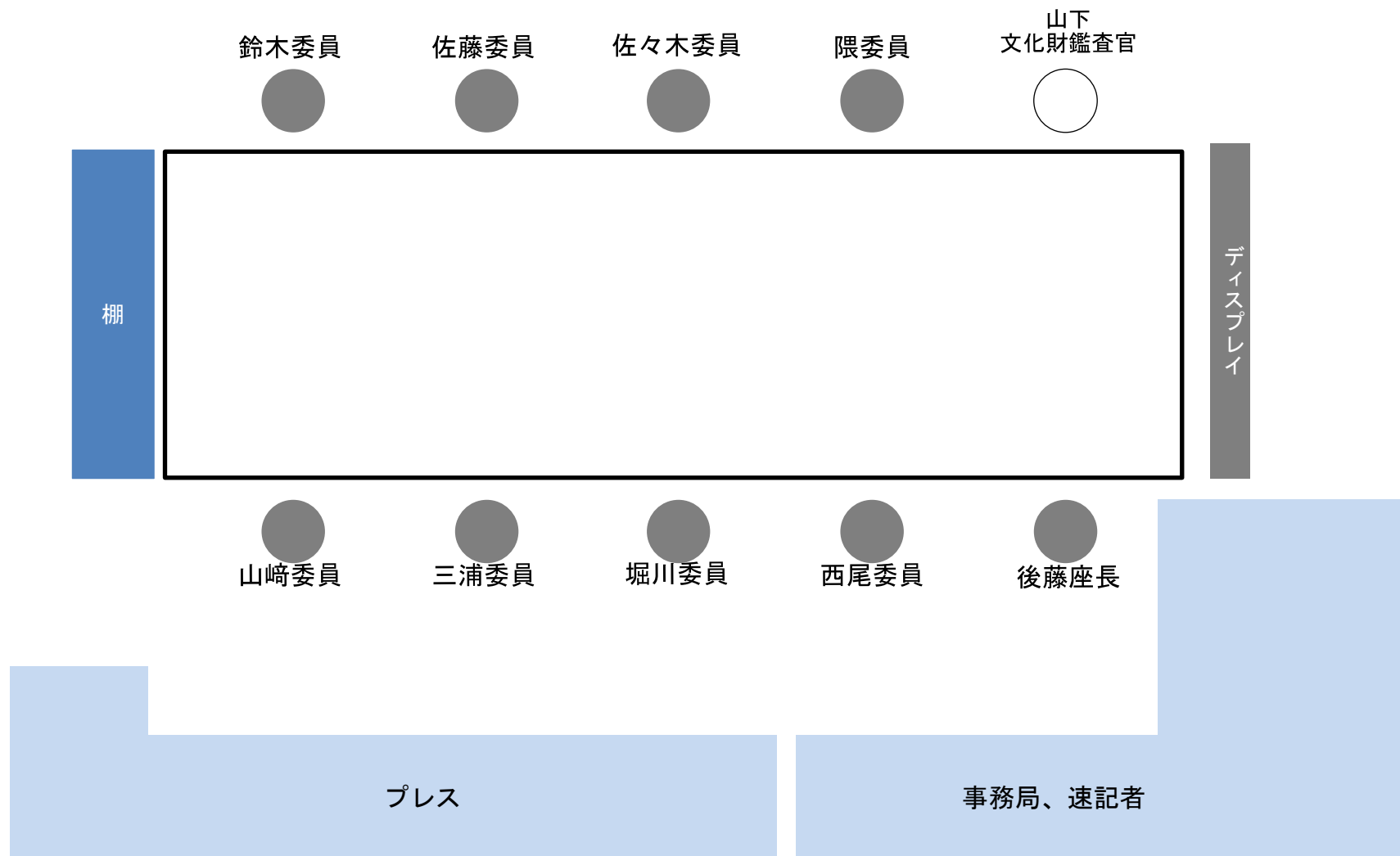


建築文化に関する検討会議(第2回) 座席表
(令和5年4月21日10時00分~12時00分)



※委員席次は五十音順

建築文化に関する検討会議（第2回）

日 時：令和5年4月21日（金）

10：00～12：00

場 所：東京工業大学 百年記念館

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）報告書の方向性について

（2）意見交換

【配布資料】

資料1 建築文化に関する検討会議 委員一覧

資料2 事務局説明資料

（我が国“建築文化”への共通理解作りと具体的行動に向けて）

資料3 堀川委員 御提示資料

参考1 <前回資料> 第一回建築文化に関する検討会議（事務局問題意識）

参考2 岸田文雄 内閣総理大臣挨拶（於 文化庁京都移転祝賀の集い）

建築文化に関する検討会議 委員一覧

| | |
|---------|-----------------------------|
| 石井リーサ明理 | 照明デザイナー |
| 隈 研吾 | 建築家 |
| 後藤 治 | 学校法人工学院大学 理事長 |
| 佐々木 葉 | 早稲田大学理工学術院 教授 |
| 佐藤 主光 | 一橋大学教授・政府税制調査会委員 |
| 鈴木 京香 | 俳優 |
| 西尾 洋一 | Casa BRUTUS 編集長 |
| 堀川 斉之 | 大成建設株式会社設計本部 シニア・アーキテクト |
| 三浦 展 | 株式会社カルチャースタディーズ研究所 代表取締役 |
| 山崎 鯛介 | 東京工業大学博物館副館長・教授 |

(五十音順、敬称略)

第二回建築文化に関する検討会議（事務局提示基本コンセプト）

[案]

我が国“建築文化”への共通理解作りと具体的行動に向けて

（１）“建築文化”をどう捉えるか

- ① 従来の“建築”分野の扱い
- ② “建築文化”の領域
- ③ “建築文化”がもたらす価値

（２）我が国における建築・維持・取壊しの構造的循環（サイクル）

- ① 循環の特徴～ショートスパンでの建替えの流れ
(地震等の災害が発生しやすい地理的条件、豊富な森林資源)
(ショートスパンの建替えサイクルを受容する諸要素)
- ② 建替えによる変容の特徴とその背景
(“必然性の低下”)
(“(文化的) 取り込み”)
- ③ 建築・維持・取壊しの構造的循環（サイクル）の課題
- ④ 資産・ストックとしての価値への気付き

(3) 我が国“建築文化”に秩序の形態を ～哲学・思想の必要性～

- ① “建築文化”に関する認識の低さと教育
- ② “建築文化”に関する哲学・思想の必要性

(4) “建築文化”の共通理解に向けた“目指すべき姿”

- ① 建築や風景、街並みについてのあり方の議論と合意 [方針]
- ② あり方を考えるに当たって重要な目線 [方針]
- ③ 国土全体、地域単位でのあり方と実装に向けたアクション [方針]
- ④ 既存の建築や風景、街並みにおける特定化と維持・活用、継承の拡大
[実物件、実空間]
- ⑤ 建築、風景に対する時代に即した実質的機能の付与、維持・活用の必然性の実現 [実物件、実空間]
- ⑥ 取り壊しに際しての建築や土地の記憶の活用 [実物件、実空間]
- ⑦ 将来の建築や風景、街並みについての全体的な世界観の確保と、自由で創造的な建築活動 [実物件、実空間]
- ⑧ 住民・所有者・利用者の、維持・活用や継承、世界観を踏まえた新たな空間の創造的形成に関する意識と、技術面の対応 [ステークホルダー等]

- ⑨ 取組を促進する合理的な制度的担保の存在 [合理性、経済性]
- ⑩ 経済性の実現と適正な評価の獲得 [合理性、経済性]
- ⑪ 建築や風景、街並みについての適切・有効な取引や継承の仕組みの存在 [合理性、経済性]
- ⑫ “建築文化”を総合的に学ぶ教育の機会と、知識・意識の向上 [教育、知識・意識]
- ⑬ “建築文化”関連の人材や知を結節するセンター拠点の存在 [基盤]
- ⑭ “建築文化”に魅了された多数のインバウンド客の来訪、世界への発信 [グローバル]